

平成30年度総会

退任役員に伴う補欠役員の承認（敬称略）

去る6月11日（月）・12日（火）、きゅりあん小ホールにおける理事会・総会において、戸張敦雄会長の逝去と3名の退任役員（東北地区・東海北陸地区・九州地区）に伴う欠員役員が理事会で選出され、総会で承認されました。

〈役職〉	〈地区〉	〈役員名〉	〈所属都道府県〉	〈備考〉
会長	東京都	入子祐三	東京都	
副会長	北海道地区	永峰 貴	北海道	
々	東北地区	千葉 昭	秋田県	（退任）
	〃	佐藤俊彦	秋田県	（新任）
々	関東甲信越	木内芳則	長野県	
々	東海北陸地区	西 輝昭	福井県	（退任）
	〃	川合俊平	三重県	（新任）
々	近畿地区	片山智成	滋賀県	
々	中国地区	鷲尾 実	広島県	
々	四国地区	溝渕正臣	香川県	
々	九州地区	大森 勲	熊本県	（退任）
	〃	石塚勝郎	鹿児島県	（新任）
監事	東北地区	佐藤俊市郎	福島県	
々	関東甲信越地区	樋浦晃治	新潟県	
々	東海北陸地区	大塚哲雄	静岡県	

〈会則 第7条〉 役員の任期 役員の任期は2か年とする。ただし再任することができる。

補欠役員の任期は、残任期間とする。

※平成30年度は、役員の改選期ではない。退任者以外の役員は留任する。

※会長逝去による補欠候補者は、常任理事会より推薦されている。

※副会長3名（東北地区・東海北陸地区・九州地区）は退任される。補欠役員候補者は、関連する地区連絡協議会より推薦されている。

本年度総会において、次のような「総会宣言」が採択されました。

平成30年度「総会宣言」

情報化、グローバル化が急速に進展する不透明な時代を、たくましく、しなやかに生きていく人材の育成には、教育尊重の気運を高め、「社会総がかり」で教育を行うことが大切である。また、今日の社会保障制度改革の動向を見据えて、会員の福祉増進に努める必要がある。

この時に当たり、全国連合退職校長会は、「変化を恐れず創造の営みを間断なく実践する」との思いを強くして知恵と工夫を念頭に、各退職校長会の連合体として活動を進めていく。

ここに、総会において、下記事項の実現に尽力することを宣言する。

記

- 一 各退職校長会との連携を一層密にし 健全な教育世論を喚起し 教育の振興に寄与する
- 一 質の高い教育を実現するため 教育条件の整備・充実を期し 政府・関係機関への要望や意見具申を強化する
- 一 将来展望の持てる年金制度をはじめ 高齢者の負担が過重にならないよう配慮した持続可能な社会保障制度改革を求め 会員の福祉の増進に努める
- 一 学校支援事業や社会貢献活動など地域学校協働活動への参加を通して 家庭や地域の教育・文化の振興に努める
- 一 会員相互の絆を大切にし 情報の共有や共通理解を図り 校園長会とも連携を深め組織の拡充・活性化を着実に進める
- 一 国民こぞって教育の在り方を考える日として 国民の祝日「教育の日」の制定と活動の充実を図るため 関係機関や団体とともにその推進を図る
- 一 東日本大震災・原発事故並びに熊本地震等で被災された地域の復興と教育環境の正常化を政府や関係機関に求めるとともに 会員の相互扶助と連帯の精神により支援に努める

平成30年6月12日

第54回全国連合退職校長会総会